

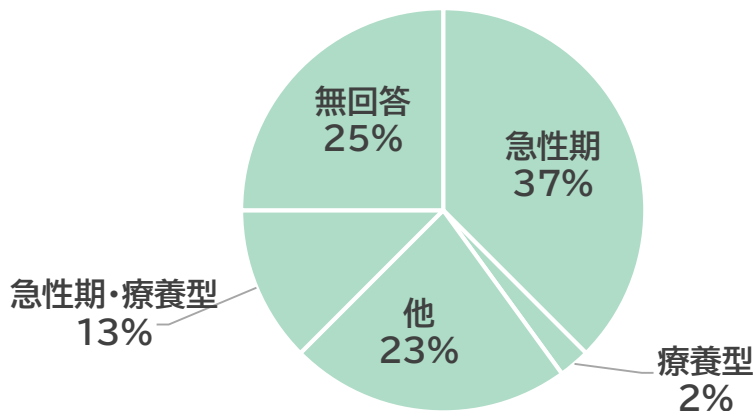


## 【報告書】

# 病院の設備機器と清掃に関する調査(2020年度)

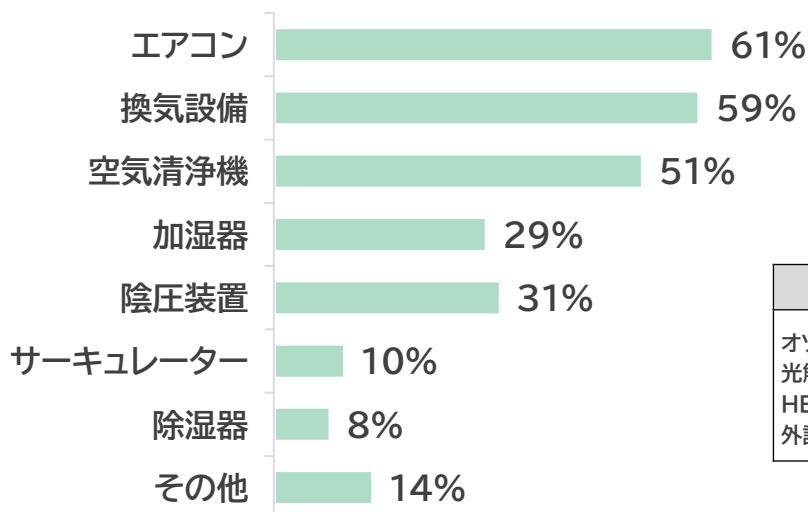
調査期間	2021年 2月～3月、7月
調査方法	郵送調査
回答方法	WEB、FAX
調査対象	病床を有する全国の施設課様
回答数	n=40

## Q. 機能分類



n=40

## Q. 空気環境対策としてご使用の機器



### 自由記入

オゾン発生装置(4件)  
光触媒  
HEPAフィルター(汚染除去型)  
外調機を使用した吸気設備

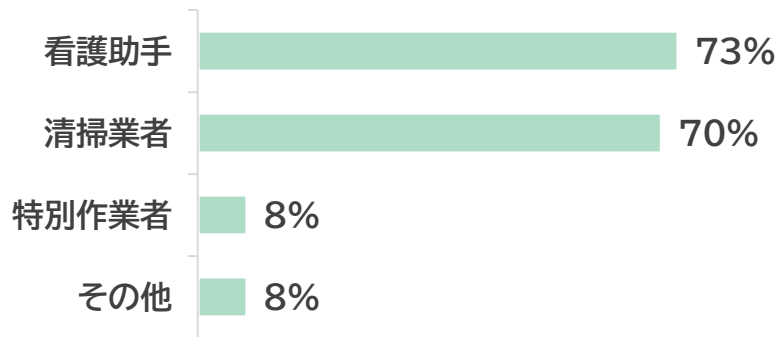
n=40

## Q. 現在の空気環境対策として気になる点

### 現在の空気環境対策として気になる点など

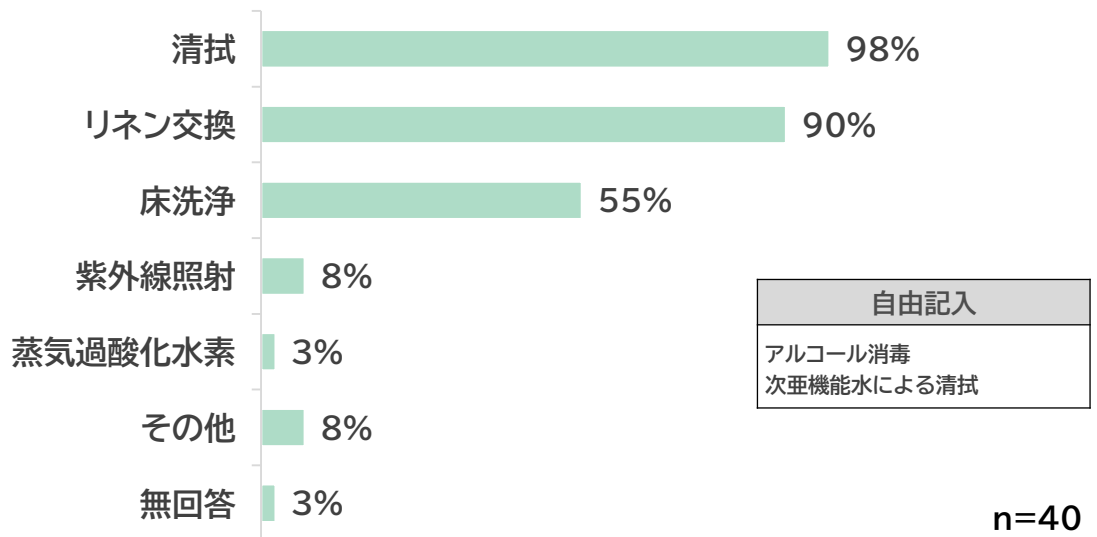
外気を取り入れる際の寒暖差(2件)
陰圧個室が無い
加湿が難しい
エアコン等のフィルターの清掃に時間がかかり大変(台数が多い為)
加湿器が今年1月で使用中止になりました。(レジオネラ菌等の心配のため)
旧棟と新棟で設備面に限界がある点
乾燥
陰圧装置、空気清浄機の清掃
本当に機能しているかが不明
カビ対策が不十分。
換気を優先すると、室温コントロールが難しい。
加湿不足 冬季間換気不足
日本自体が亜熱帯化してきているので建物の湿気対策には興味があります。
排気能力と冷バランス
排気出口。歩道等に感染個室等の排気が出ている場合のリスクの有無(風通しの良い歩道は気にしなくて良いか等)。

Q. 退院時清掃作業は主にどなたが担当されていますか？（複数回答）



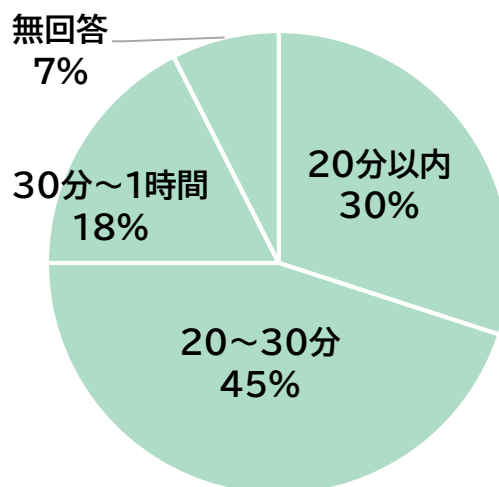
n=40

Q. 退院時清掃の主な作業内容（複数回答）



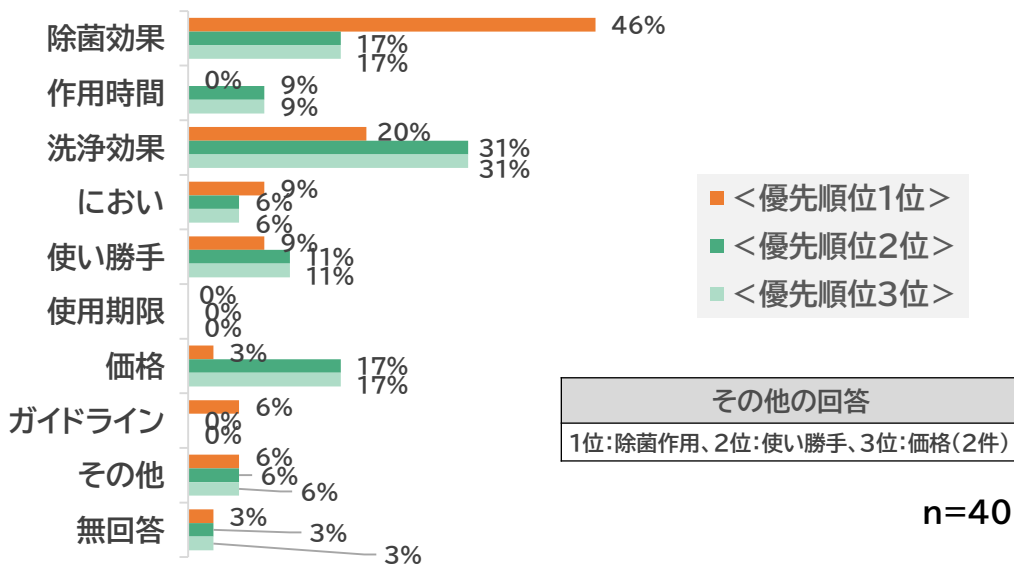
n=40

Q. 退院時清掃の作業時間

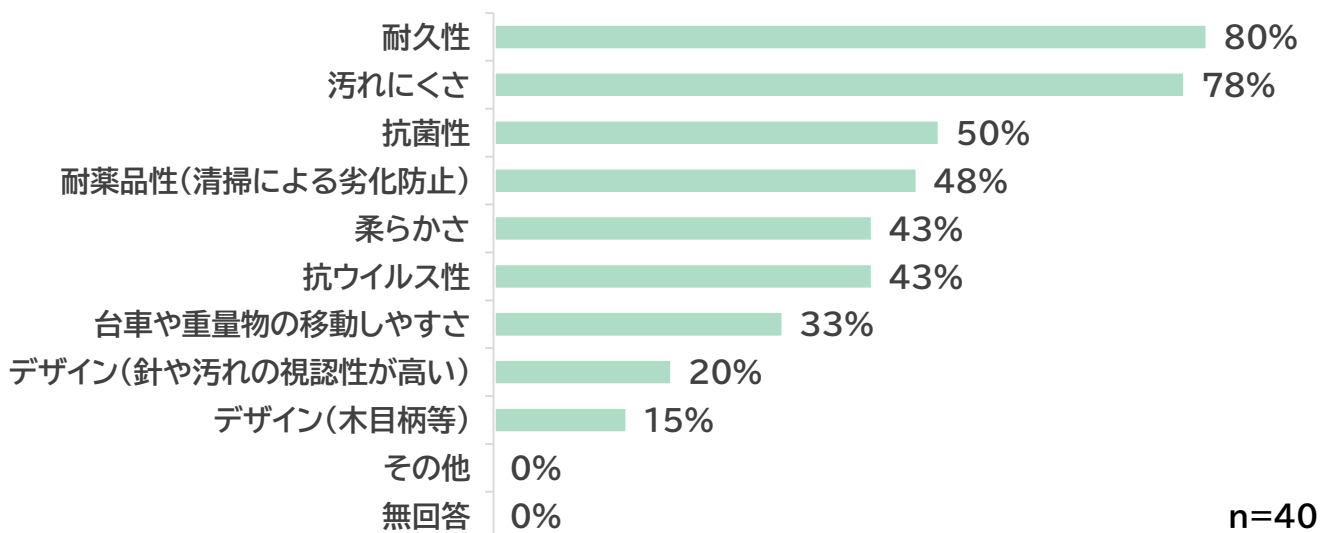


n=40

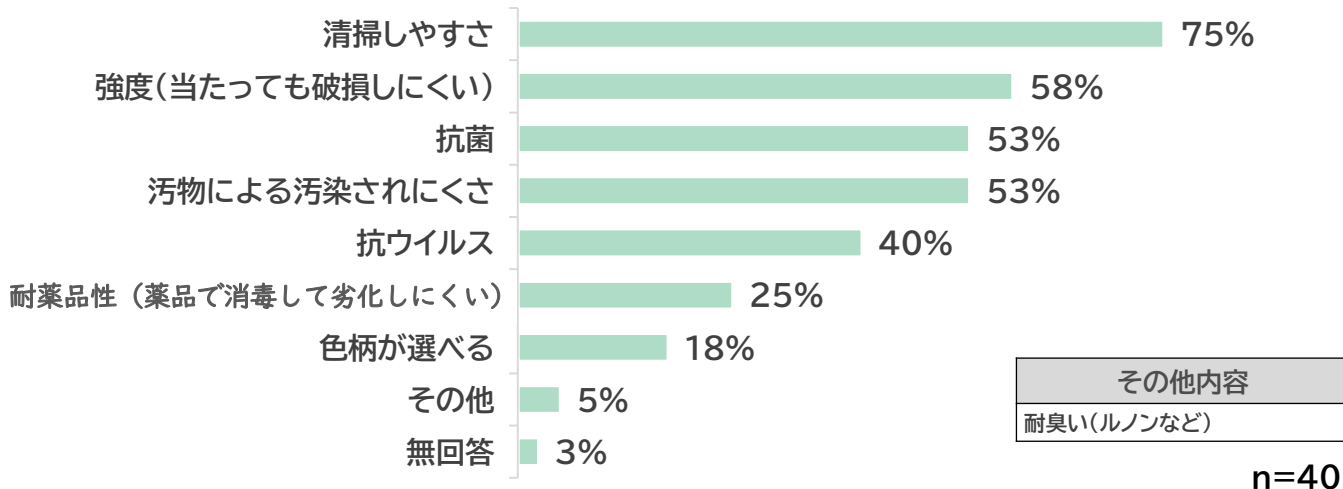
## Q. 病院内の環境表面の清拭作業に使用する薬剤の選定基準…優先順位の高いものから3つ



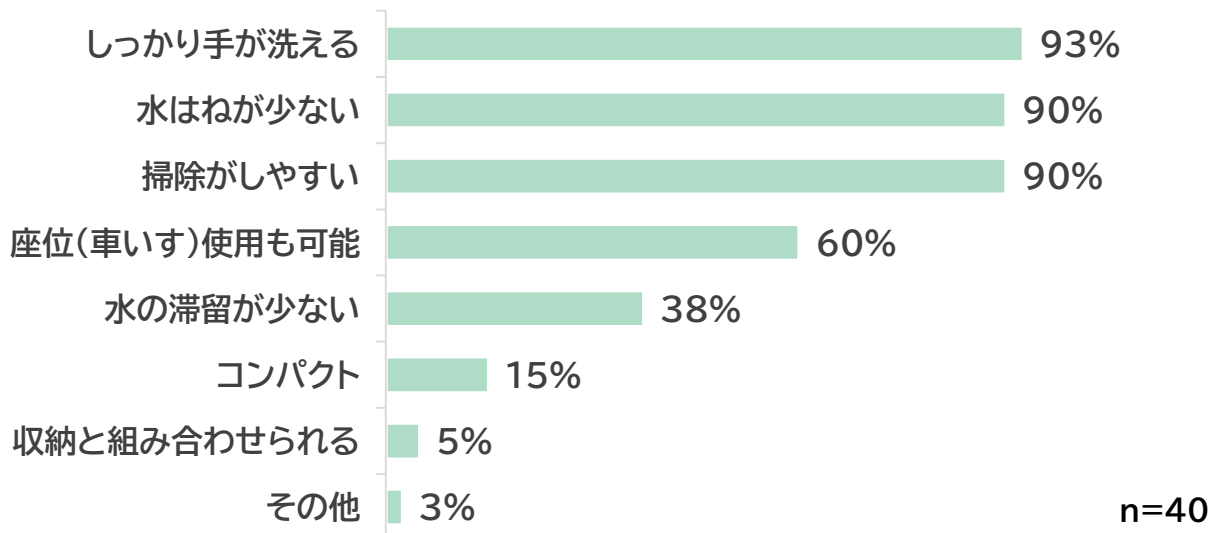
## Q. 床材に求める性能（4つまで回答）



## Q. 壁材に求めること（複数回答）



## Q. 洗面器に求めること（複数回答）



<新型コロナウイルス患者の受け入れがあった病院において> ※17病院

## Q. 新型コロナウイルス感染エリア内のトイレや手洗い施設や、その出入り付近のトイレや手洗い施設における特有の課題や配慮ポイントなど

### 新型コロナウイルス感染エリア内・出入口付近の トイレや手洗い施設特有の課題や配慮ポイント

#### ■ ■ ■ 選択肢 / 重症患者まで受け入れ（8病院）

部屋毎の手洗い場、不潔→清潔エリアに行く前にすぐ手洗いができる環境

老朽化によるクリーニングしにくさ。

清掃回数を増やした。

空調では陰圧環境の整備。コロナ専用病棟へ入院した患者の退院清掃チーム編成

#### ■ ■ 選択肢 / 中等症患者まで受け入れ（5病院）

一般病棟を閉鎖してコロナ病床としての運用をしている。トイレや水回りの使用頻度が減り、臭いの問題が発生している。

誰が清掃するか

個室になっており、一般の患者さんは接触することはない

病院に限らず各種施設におけるトイレは今や常に清潔であることが、時代とともに問われている。当院内の患者様ご意見の中でトイレや食事に関する事が多く、常に注視している。

#### ■ 選択肢 / 軽症患者まで受け入れ（4病院）

ゾーニングの取り決めやPPEの脱着場所の確保

#### □ 選択肢 / 受け入れてない（21病院）

総室で水回りを共有する環境でCOVID-19の伝播があった可能性があるため、消毒頻度を増やした。

疑いを受け入れているので回答します。院内でも疑い患者のトイレ問題の話がでました。動線を分ける、持ち込みを防ぐ意味で屋外施設に仮設トイレを設置していました。あくまで仮設なので利用しづらい、臭気もあり、何かユニット型のプレハブトイレのようなものがほしいと思っています。

次亜機能水による清掃を実施中。

レバー（蛇口）の使用注意、トイレは災害用トイレ（ラップボン）を使用